

温故知新

(古代文明のおこり)

No. 12

大和・河内の地域には、特に巨大な古墳が数多く見られる

↓

地域の豪族たちが連合して強力な政権

[]

その後、吉備・出雲・筑紫・日向・毛野などを従える

4世紀の朝鮮

高句麗が北方から進出して、中国の()を滅ぼす。

南部には、()・()が建国。→→3国の対立

5世紀

倭の大王 おおきみ 中国の()の皇帝に使いを送り、

その地位を認めてもらう。

倭国←→朝鮮・中国

往来が盛んになる→→→倭国に移り住んでくる朝鮮・中国の人々が増える

[]

大和朝廷は、渡来人を近畿地方に住まわせ、朝廷に仕えさせた。

渡来人

- ・かんがい用の水路・ため池などの新しい土木技術
- ・() [かたい質の土器] 作りの技術
- ・鍛冶・養蚕・機織りの技術

↓

↓

農業・工業が発展→→→→大和政権の力が強まる

6世紀半ば 百済から()の教典や仏像が伝わる

大和政権のしくみ

豪族の集団→→ []・代々決まった仕事について。

大王より()・()などの [] を与えられる。

もっとも有力なものは、 []・ [] で

大王のもとで政治を進めていった。

この制度を [] という。

地方の有力な豪族も [] という地位に任じられた。